

紀要『人文・自然研究』第17号

母語の知識を活かした中国語教育文法から見た誤用分析
——「为」と「为了」の使い分けを例に——

劉 時珍



2023年3月25日発行

一橋大学 全学共通教育センター

人文・自然研究 第17号

Hitotsubashi Review of Arts and Sciences 17



2023年3月25日発行

発行：一橋大学全学共通教育センター

186-8601 東京都国立市中 2-1

組版：精興社

母語の知識を活かした中国語教育文法から見た誤用分析

— 「为」と「为了」の使い分けを例に —

劉 時珍

1. はじめに

大学での中国語教育における達成目標の1つに、「自分が言いたいことを中国語で言える／書けるようになる」ことが挙げられる。もちろん、中国語の文献が読めるようになること、中国語の聴解能力を高めることも重要だが、「話す」「書く」という「産出」面の能力を高めることは、学習者の動機付け（motivation）を高める効果があると考えられる。

こうした産出能力を高めるためには学習者の母語の知識を最大限活用することが望ましい。そうした観点から、筆者は前稿（劉 2022）において、学習者が母語である日本語について持っている知識を活かして中国語の文を産出できることを目指す中国語教育文法的重要性を指摘し、離合詞を例にその方法論について検討した。

本稿では、母語の知識を活かした中国語教育文法の方法論に関して、日中の対応関係がやや異なる場合における学習者の誤用例を分析した結果を報告する。

誤用のあり方という観点から中国語の誤用例を見ると、いくつかの種類が存在する。中国語の文法ルールを覚えれば避けられる誤用例もあれば、日本語と中国語の意味合いのズレで生じた誤用例もある（郭 2014, 2017）。孤立語に属する中国語と膠着語の日本語には文法体系が違うものが多いものの、語彙レベルでは漢字・漢語が共通しており、両言語の意味のマッチングがうまくできれば、日本語母語話者の中国語の習得が容易になると思われる。例えば、類義表現と考えられる「不管」と「尽管」で言えば、「不管」は「～に関わらず」に、「尽管」は「～にも関わらず」にそれぞれ対応しているのである。

誤用例の中には日本語と似ているものの、中国語独自の意味の分節基準を持っているというパターンもある。本稿ではその中の一例を論じ、日本語との類義語と比較対照しながら、その異同点、使い分け、そして中国語教育文法としての教え方を探りたい。

2. 問題の所在

次の(1)は一橋大学における筆者の授業において、学習者が産出した実例である。(1)で意図されている意味は(2)であるが、この意味の場合、(1)のように「为」を用いるのは不自然で、(1)のように「为了」を用いるのが自然である。

- (1) ?她 一 加入 这个偶像组合, 就 为 演唱会
彼女 すぐに 加入する このアイドルグループ ために コンサート
完美地 学会了 七十首歌曲的舞蹈。
完璧に 習得た 七十曲歌 のダンス

- (2) 彼女はこのアイドルグループに入るとすぐに、コンサートのために70曲の振り付けを完璧に覚えた。



(1) ○她一加入这个偶像组合, 就为了演唱会完美地学会了七十首歌曲的舞蹈.

ために

また, (1) の後半を (3) のように変えると, 「为」が自然になる.

(3) 她一加入这个偶像组合, 就为演唱会筹集了大量的资金.

募るた大量の資金

彼女はこのアイドルグループに入るとすぐに, コンサートのために多額の資金を募った.

本稿では, この実際の誤用例を出発点に, 日本語母語話者にとってわかりにくい「为」と「为了」の違いに光を当てることを目的とする.

3. 「ために」「ため」と「为了」「为」「因为」

本節では, 本稿で扱う日中両言語の形式についてその用法を概観する.

3.1 「ため (に)」の用法

日本語の目的表現としてよく用いられる形式に「ため (に)」がある.

(4) 中国に留学するために, 私は中国語の勉強をしている.

日本語の目的表現にはもう1つ「ように」がある.

(5) 中国に留学できるように, 私は中国語を勉強している.

(4) と (5) はほぼ同じ内容を表しており⁽¹⁾, 中国語や英語では同じ形式になるため, これまでその使い分けが日本語学習者にとって難しい点が研究対象とされてきた (Ex. 稲垣 2009, 福田・稲垣 2013).

「ために」は目的の他に理由も表す⁽²⁾.

(6) 戦争が起こったために, 天然ガスの値段が高騰した.

(4) (6) からわかるように, 「ために」は目的と理由を表すが, 2つの用法において文体的な硬さは異なる. すなわち, 目的を表す場合は「ために」は(「ように」と同じく)話しことばでも使われるが, 理由を表す場合は「ために」は文体的に少し硬い形式で, 話しことばではあまり使われず(話しことばでは「ので」「から」が使われる), 基本的に書きことばで使われるという違いがある.

「ために」の「に」が脱落すると「ため」になるが, 「ために」と「ため」は同義と見なされることが多い (Ex. 庵他 2000: 214). ただし, 4節で見えるように, 実例における「ために」と「ため」の分布にはかなりはっきりとした違いが見られる.



3.2 「为」「为了」と「因为」

中国語の辞書の記述を見ると、『現代汉语词典』（第6版）では、「因为」は因果関係の原因を表す接続助詞だという。例えば、次の通りである。

- (7) 因为治疗及时, 所以很快就痊愈了。
(早めに治療したため、間もなく治った。)
- (8) 因为水流过急, 无法过江。
(水の流れがあまり急なので、川を渡れない。)

一方、「为了」は目的を表すと記されている。例えば、次の通りである。

- (9) 为了工作学习新知识。(仕事のために新しい知識を学ぶ。)
- (10) 为了人民利益而献身。(人民の利益のために奉仕する。)
- (11) 为了教育群众, 首先要像群众学习。
(人民大衆を教育するために、まず人民大衆に学ぶ。)

これに対し、「为」は原因、目的を表すとされている。例えば、次の通りである。

- (12) 大家都为这件事高兴。(みんなこの件のために喜んでいる。)(原因)
- (13) 为建设伟大的祖国而奋斗。(偉大な国を建設するために奮闘する。)(目的)

「为」は正に「因为」と「为了」の間の存在であるように位置づけられているが、語構成から見ても、原因を表す「因为」より、「为」が文頭にある「为了」と意味的により近い。本稿では、「为」と「为了」の使い分けを中心に扱うことにする。

このように、「为」、「为了」は「のため、ために」になるのだが、正確に訳してみると、「为了」は「ために」「のため」であり、「为」は「ための」の方がより適切だと思われる。

中国語では、両者の後ろの文の長さの違いがある。「为」の場合は後ろに短い文しか呼応できず、また意味的に緊密性を持っている。その1つの根拠としては、「为」は「以…为」(「～を～にする」)「为…而」(「～のため～する」)のような他の接続助詞と一緒に使う傾向が高いことが挙げられる。

- (14) 本书是以普通教育为研究对象的。(北京大学中国语言学语料库 CCL)
本書は普通教育を研究対象にしている。
- (15) 它是不以人们意志为转移而客观存在的。(CCL)
それは人の意志によらぬ客観的な存在である。
- (16) 为弘扬中华文化而进行的大力宣传, 至今都让人们记忆犹新。(CCL)
中華文化を広げるための力入りの宣伝は未だに記憶が鮮明である。

4. 「(の) ために」と「(の) ため」: 日本語における分布

2節で見たように、日本語では「(の) ため (に)」が「目的」と「理由」の意味を表すのに対し、中国語では両者はそれぞれ「为 (了)」と「因为」で表し分けられる。このように、母語で同一形式で表される意味内容が目標言語 (target language) で複数の形式



に分節される際、誤用が起きやすい⁽³⁾。

ここでは、「(の) ために」と「(の) ため」を「形式」と見て（すなわち、「目的」か「理由」かという「意味」を度外視して）、実例における分布がどのようになるかを調べた結果を報告する。この調査を行ったのは、本稿が採るような母語の知識を活かす場合には学習者に見える中国語が問題になるためである⁽⁴⁾。

調査は現代日本語書き言葉均衡コーパス（BCCWJ）を用いて行った。BCCWJ を下記の条件で中納言を用いて長単位で検索した⁽⁵⁾。

(17) キー：語彙素=為

その結果、10万件あまり（102452件）が検索された。これはダウンロード可能な10万件をオーバーしているがほぼ10万件と見なし、ダウンロードされた10万件からランダムサンプリングで1000件を抽出し分類した。その結果、「ために」と「ため」の前接要素は図1、表1のようになった。

ここで、「動詞」、「形容詞」（イ形容詞、ナ形容詞の総称）は（17）のように動詞、形容詞の活用形が「ため（に）」に前接するものであり、「名詞」は「名詞+のため（に）」の形になるもの、「連体詞」は「このため」「そのため（に）」の場合である（以下、各品詞の場合を総合して「(の) ため」「(の) ために」と表記する）。

(18) 米に均一に水分を吸水させるため、米をザルに上げて水を切る。

(PB35_00149⁽⁶⁾)

(19) 殺された名古屋支店長は、その後始末のために派遣されたのです。

(PB43_00531)

(20) この三人は、過ぎ去った江戸の中に文化の型と遊戯の精神を見ようと努め、岡田村雄などはそのために我が身を犠牲にしたほどであった。

(PB19_00290)

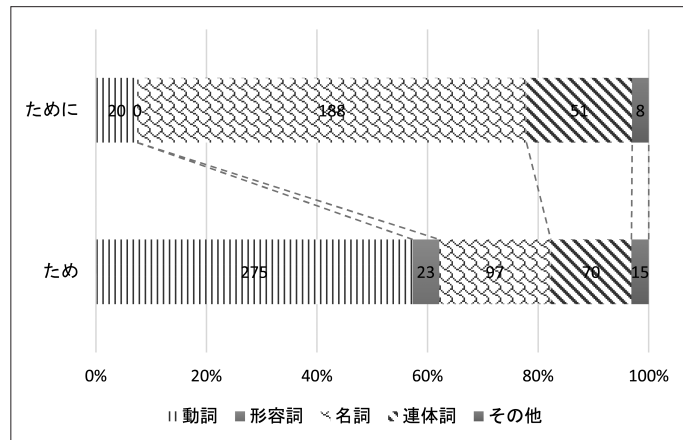


図1 「(の) ために」と「(の) ため」(数値は用例数)

図1から、1) 単純頻度では「(の) ために」より「(の) ため」の方が多い、2) 「(の) ために」では「名詞」が、「(の) ため」では「動詞」が多いことがわかる⁽⁷⁾。また、それぞれの上位10位を挙げると次のようになる。



表1 「(の) ために」と「(の) ため」(頻度順上位10位)

	(の) ために		(の) ため
その	50	その・この	70
人間*	26	因る	36
何	11	する	22
が	5	なる	17
発展	4	ある	13
目的	4	慣用句**	13
こと	4	資する	7
解決	2	確保する	6
利益	2	不足	4
する	2	発生する	4
金	2	防止する	4
用事	2	行う	4
残す	2	無い	4
慣用句*	2	対応する	4
その他	149	その他	272
合計	267	合計	480

*人間:「子ども, あなた, 親」のような人間を表す名詞を一括した

**慣用句:「念のため(に)」「世のため人のため」を一括した

図1, 表1から, 「(の) ために」には「名詞」が前接しやすく, 「(の) ため」には「動詞」が前接しやすいが, これは言い換えると, 「(の) ために」は「(副詞) 句」的であるのに対し, 「(の) ため」は「(副詞) 節」的であるということである⁽⁸⁾.

具体的に言うと, (21) と (22) のような分布の違いが存在するということである. ここで, ◎も○も文法的には問題はないが, ◎は頻度が高いこと, ○は頻度が低いことを表す.

(21) 祖国発展 {◎のために/○のため}, 彼は身を捧げた.

(前接要素が名詞 = 副詞句的)

(22) 祖国を発展させる {○ために/◎ため}, 彼は身を捧げた.

(前接要素が動詞 = 副詞節的)

5. 「为」と「为了」: 先行研究の見解と問題点

郭(2001)では, 「为」と「为了」の違いについて, 誤用例を挙げながら, 次のように述べられている. すなわち, 「为了」は「何かするために」, 「ある目的のために」を表し必ず複文で使われる. 一方, 「为」は「後続要素が」「対象に」「誰々に」である場合に使用され, 目的ではなく, 対象であり, 複文ではなく, 単文で使うという. しかし, この郭(2001)のまとめでは, 本稿の最初に挙げた例(1), 「为」の後ろの文を変えれば自然になることの説明につかない. 下記の例もうまく説明できない.

(23) ◎为了修理, 他把手表拿去 了修理店.

修理 彼を時計持って行きた修理屋

修理のために, 時計を修理屋に持って行った.

(24) ? 为修理, 他把手表拿去了修理店.



本稿では、先行研究を踏まえ、**「为」と「为了」**の後ろの成分に注目し、意味上の制約なども日本語を比較しながらより深く考察する。

6. 考察

5節で見たように、「为」と「为了」は基本的には(25)のような関係になっている。

- (25) a. 为+名詞
b. 为了+動詞

しかし、これも5節で見たように、両者はこうした形態論的な特徴だけで使い分けられるわけではない。例えば、冒頭の(1)((26)として再掲)の場合、「演唱会(コンサート)」は名詞なので、郭(2001)の説明によれば「为」が使えるはずだが、実際は「为」は据わりが悪い。

- (26) ?她一加入这个偶像组合, 就为演唱会完美地学会了七十首歌曲的舞蹈。(= (1))
彼女はこのアイドルグループに入るとすぐに、コンサートのため70曲の振り付けを完璧に覚えた。

同様に、(27)(28)でも「为」は不自然で「为了」が自然である。

- (27) 我 {?为/○为了} 幸福 结婚。
私 ために 幸せ 結婚する
私は幸福のために結婚する。
(28) {?为/○为了} 修理, 他把手表拿去 了修理店。
修理 彼を時計持って行く た修理屋
修理のために、時計を修理屋に持って行った。

一方、次例は(25)の原則に従う。

- (29) 我 {○为/×为了} 我的孩子 担心。(郭2001:262)
私 ために 私の子ども 心配する
私は私の子どものために心配する。

(29)の場合、「为+N(我的孩子)+V(担心)…①」という構造において、「(私が)心配すること」の「利益」は「私の子ども」に向かう。このように、①の構造において、Vの「利益」がNに向かう場合には「为」が使われ「为了」は使われない。

一方、(27)の場合、「为+N(幸福)+V(结婚)…②」の構造において、「結婚すること」で「利益」を得るのは「幸せ」ではなく「私」であるため、「为」を使うことはできない。(26)の場合も「为+N(演唱会)+V(完美地学会了七十首歌曲的舞蹈)…③」の構造において、「70曲の振り付けを完璧に覚えた」ことで利益を得たのは「コンサート」ではなく「私」なので「为」は不自然なのである。なお、(26)の不自然さには「为」の後置要素が長すぎることも関連しているが、より本質的なのは上述の「利益」の向かい



先であると考えられる。

ここで、4節で見たように、「ために」と「ため」に関して、実例の分布は(30)のようになっていた。

- (30) a. ために：名詞が前接しやすい
b. ため：動詞が前接しやすい

(25)と(30)はきれいに対応しているので、日本語母語話者の母語の知識を活かすという観点からは次のような教授上の方策が考えられる。

- (31) a. 日本語で「目的」の意味で「ために」を使うときは「ために」の前に名詞が来やすいので、「为」を使う
b. 日本語で「目的」の意味で「ため」を使うときは「ため」の前に動詞が来やすいので、「为了」を使う

この方策を使うとしても、上述の「利益」の向かい先に関する説明は必要であるが、それだけでなく、(30)自体が中国語の(25)ほど明確なものではない可能性がある点にも注意が必要であるように思われる。中国語の(25)は統語的基準に基づくかなり明確な差であるが、日本語の(30)はコーパスから帰納された結論ではあるものの、日本語母語話者がこの違いをどの程度意識しているかは現時点では不明である。そうしたことから、(31)を教育現場で利用できるか否かについては、筆者自身今後の授業実践の場で検証していきたいと考えている。

7. おわりに

本稿では、母語の知識を活かした中国語教育文法の方法論の検討という観点から、学習者の実際の誤用例を出発点に、目的を表す中国語の「为」と「为了」の使い分けの基準について考えた。その結果、先行研究の純統語的な基準は修正が必要であることが明らかになった。

一方、「ために」と「ため」の実際の使用傾向を調べたところ、両者の間にはかなり明確な差があり、しかも、その差は中国語の「为」と「为了」の基本的な違いとほぼ対応するという興味深い結果も得られた。

劉(2022)でも指摘したように、大学の第2外国語教育においては、学習者の母語(日本では日本語)を最大限に活用することが望ましい。そうした意味で、今後も母語の知識を活かした中国語教育文法の観点からの研究および授業実践を続けていきたいと考えている。

参考文献

- 庵功雄(2012)『新しい日本語学入門(第2版)』スリーエーネットワーク
庵功雄・高梨信乃・中西久実子・山田敏弘(2000)『初級を教える人のための日本語文法ハンドブック』スリーエーネットワーク
稲垣俊史(2009)「中国語を母語とする上級日本語学習者による目的を表す「ために」と「ように」の習得」『日本語教育』142
郭春貴(2001)『誤用から学ぶ中国語 基礎から応用まで』白帝社



- 郭春貴 (2014) 『誤用から学ぶ中国語 続編 1』 白帝社
郭春貴 (2017) 『誤用から学ぶ中国語 続編 2』 白帝社
福田純也・稲垣俊史 (2013) 「上級日本語学習者による目的を表す「ために」と「ように」の習得—「ために」の過剰般化は中国語話者に特有か」『日本語教育』156
前田直子 (1993) 「「目的」を表す「～するように」の意味・用法」『日本語教育』79
劉時珍 (2022) 「中国語離合詞の教え方に関する一試論」『人文・自然研究』16, 一橋大学『現代漢語詞典』第6版 (2012) 商務印書館出版

使用したデータベース

1. 現代日本語書き言葉均衡コーパス (BCCWJ)
https://chunagon.ninjal.ac.jp/auth/login?service=https%3A%2F%2Fchunagon.ninjal.ac.jp%2Fj_spring_cas_security_check
2. 北京大学中国语言学语料庫 (CCL)
http://ccl.pku.edu.cn:8080/ccl_corpus/index.jsp

註

- (1) 「ために」と「ように」の使い分けの原則は、「ために」は意志的表現とともに使われ、「ように」は非意志的表現とともに使われることである（両者のより詳しい使い分けについては前田1993を参照）。
- (2) 「目的」は未然のことについて言うものであるため、「ため（に）」の前接要素がタ形（已然）である場合は義務的に「理由」の解釈になる。
- (3) 「ため（に）」という「形式」ではなく、「目的」という「意味」を問題にする場合は、前述のように、中国語が1形式（「为（了）」）なのに対し、日本語が2形式（「ために」と「ように」）であるため、中国語を母語とする日本語学習者には両者の使い分けが難しいということになる。
- (4) 日本語から見ると、「（の）ため（に）」の中に「目的」と「理由」という2つの意味が含まれるので、「（の）ため（に）」という形式を見た際に、この2つの意味の違いは意識されにくい。これが「日本語を母語とする中国語学習者（日本語話者）に見えている中国語」の意味だが、中国語では「目的」と「理由」は「为（了）」と「因为」という別形式で表されるため、日中で対応にずれが生じ、中国語を使う際に誤用が生じやすいということである。
- (5) 検索条件を(17)にした理由は次の通りである。まず、サ変動詞などを全体として検索できた方が望ましいので、長単位検索とした。また、「ために」の用例は「ため」の検索結果の中に全て包含されるので、キーを「語彙素=為」とした。
- (6) 例文に付している番号はBCCWJのサンプルIDである。
- (7) カイ二乗検定の結果は、 $\chi^2(3) = 219.88$, $p < .001$, Cramer's $V = 0.551$ で、「（の）ために」の「名詞」と「（の）ため」の「動詞・形容詞」が有意に多く、それ以外には有意差はなかった。なお、「（の）ために」の「形容詞」が頻度0であったため、「動詞」と「形容詞」を合算して検定した。
- (8) 日本語の単文・複文の認定には難しい問題が絡むが（Cf. 庵2012）、ここでは「句」と「節」を英文法におけるのと同様の基準で考える。



Abstract

A Study on Error Analysis from the Viewpoint of Pedagogic Grammar of Chinese Using Learners' Knowledge on their Mother Tongue —Differentiating the Use of 为 (Wei) and 为了 (Weile)

Liu Shizhen

In this paper, starting from examples of misuse by Chinese learners of Japanese, I have considered the distinction between the Chinese expressions “wei (为)” and “weile (为了)” for expressing purpose. The principle of the distinction between the two forms is “wei + noun” and “weile + verb”; in other words, “wei” is adverb-phrase-like and “weile” is adverb-clause-like. In practice, however, it turns out that in addition to these syntactic criteria, there is a semantic restriction that for the “wei + noun + verb” construction to qualify, the “noun” must be the one facing the benefit expressed by the “verb”. Furthermore, an analysis of the usage tendencies of *tameni* and *tame* in Japanese also confirmed a remarkable tendency for *tameni* to be preceded by nouns and *tame* by verbs.



人文·自然研究 第17号